

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	711	施策	産業振興と創業支援
管理事業	商工振興事業	所管部局	都市魅力部

1	所管 室課	地域経済振興室	事業名	商工振興事業			
事業概要							
中小企業資金融資、吹田産業フェア、吹田市創業・中小企業振興支援事業補助金交付、企業情報収集・支援、中小企業活性化支援、企業誘致推進、経営相談、産業振興基盤づくり、商工業情報発信、商工振興施策検討							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 中小企業活性化支援事業 【決算額】R5：5,521千円、R6:9,711千円、R7：8,820千円 【主な取組】中小企業ホームページ等作成事業補助金(30件) 展示会等出展事業補助金(10件) 知的財産権取得事業補助金(6件) 中小企業人材育成支援補助(4件)ほか			決算額 (千円)	412,930	358,877	363,510	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	1.3	3.2	0.0	■ 有効性 ☐ 効率性
(2) 企業誘致推進事業 【決算額】R5：27,296千円、R6:21,043千円、R7：21,992千円 【主な取組】企業立地促進奨励金(4件) 地元企業等共同研究開発事業補助金(2件)ほか			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			各種補助制度の実施により、市内中小 企業者の人材育成、販路拡大等への支援 や企業立地の促進を図るなど、地域経済 の活性化に寄与した。 既存の補助制度については、経済社会 の変動、国・府の事業者向け支援制度の 動向、効果検証の結果等を踏まえつつ、 市の役割を含め、市内中小企業者向けの 施策を整理した。 今後は、引き続き効果の把握・検証を 行うとともに、各種制度の更なる認知度 向上、理解促進を図るため、事業者への 効果的な情報発信に努める必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
(3) 経営相談事業 相談件数 R5：41件、R6：42件、R7：37件						継続	
(4) 商工業情報発信事業 商工ニュース発行 R5：3回、R6：2回、R7：3回 商業情報発信 R5：10回、R6：13回、R7：24回							
(5) 吹田産業フェア 【決算額】R5：9,688千円、R6：11,000千円、R7：13,942千円							

2	所管 室課	地域経済振興室	事業名	起業支援事業			
事業概要							
新産業育成・創業起業支援、市役所本庁舎内チャレンジャー育成							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 新産業育成・創業起業支援事業 【主な取組】創業支援型事業所賃借料補助金 R5:1,417千円(4件)、R6:1,042千円(3件) R7:1,140千円(3件) 開業サポート資金融資等利子補給金 R6:868千円(15件)、R7:203千円(15件) 起業家交流会開催実績 R5:4回、R6:4回、R7:4回			決算額 (千円)	1,548	2,122	1,976	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			創業支援型事業所賃借料補助金による 創業初期のサポートや、起業家交流会の 実施による創業者－事業者間交流の活性 化は、創業者の育成や定着に有効であ る。 今後は、各種制度の更なる認知度向 上、理解促進を図るため、事業者への効 果的な情報発信に努める必要がある。 市役所本庁舎内チャレンジャー育成事 業については、応募しやすい仕組み作り や出店後の継続した支援を行う必要があ る。			今後の実施計画 の方向性・内容	
(2) 市役所本庁舎内チャレンジャー育成事業 主な販売メニュー R5: そば R6: ラーメン R7: 弁当(※) ※当該事業終了後(R8.4～)、市内で営業開始			継続				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	711	施策	産業振興と創業支援
管理事業	商工振興事業	所管部局	都市魅力部

3	所管 室課	地域経済振興室	事業名	商店街等支援事業		
事業概要						
商工業団体事業活動促進補助金交付、商店街等商業共同施設事業補助金交付、商店街等魅力向上促進事業補助金交付、商業活性化コンサルタント派遣事業補助金交付、駅周辺活性化、商業基盤施設整備事業補助金交付						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
地域の消費者や住民にとって快適で魅力ある商業地づくりや市内商工業団体等による地域との交流や活性化を図る事業への補助を行った。 ・商工業団体事業活動促進補助金交付件数 R5：10件、R6：17件、R7：17件 ・商店街等商業共同施設設置事業補助金交付件数 R5：5件、R6：5件、R7：6件 ・商店街等魅力向上促進事業補助金交付件数 R5：8件、R6：10件、R7：11件 ・商業活性化コンサルタント派遣事業補助金交付件数 R5：3件、R6：3件、R7：3件 ・駅周辺活性化事業　まちづくり講演会開催（令和8年3月18日）		決算額 （千円）	19,016	21,622	27,016	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率（％）	99.3	99.4	87.5	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容 継続
		既存の補助制度について、商業団体の 意向も踏まえつつ、補助対象や内容の見 直しを行った。 各種支援の効果的な情報発信に努める とともに、商業者団体に対しては、地域 性を踏まえた目指すべき姿の検討を進め られるよう、その取り組みについて支援を 行う必要がある。				

4	所管 室課	地域経済振興室	事業名	ふるさと寄附金事業		
事業概要						
ふるさと寄附金関連						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
本市の魅力発信と地域経済の振興のため、ふるさと納税ポータルサイトを經由した寄附の受付及び寄附者への返礼品の送付等を行った。 (1) ふるさと納税ポータルサイトを經由した寄附受付期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで (2) ふるさと納税ポータルサイトを經由した寄附金額及び寄附件数 R5：1,450,797千円、71,978件 R6：1,308,699千円、68,946件 R7：1,786,267千円、81,029件 (3) 返礼品提供事業者及び返礼品数 R5： 47者、192品 R6： 52者、222品 R7： 74者、353品		決算額 (千円)	721,671	640,230	862,829	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		ふるさと納税返礼品の提供事業者数については、本市の魅力発信及び地域経済の振興に資するよう、市内事業者への企業訪問や大学連携事業（大学版ふるさと納税）を通じて、返礼品提供事業者の増加及び返礼品の充実に取り組む。また、総務省の指定基準の変更等に対応し、新たな返礼品の選定及び既存返礼品の精査に努める。				
継続						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	711	施策	産業振興と創業支援			
管理事業	商工振興事業		所管部局	都市魅力部		
5	所管室課	地域経済振興室	事業名	商業振興施策整備費積立事業		
事業概要						
商業振興施設整備費積立						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
・商業振興施設整備基金の預金利子積立 1,604,769円 ・基金総額 539,312,461円（令和8年3月31日現在） 取崩実績 ・H13：旭通商店街（協）アーケード補修 216,263,000円 ・H17：錦通商店街（協）アーケード補修 20,930,000円		決算額 (千円)	5	158	1,605	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		関連するハード事業において、どの程度 の財源確保をしておくべきかの観点を 踏まえて備えておく必要がある。			継続	

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				□ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	711	施策	産業振興と創業支援
管理事業	農業振興事業	所管部局	都市魅力部

1	所管 室課	地域経済振興室	事業名	大阪府農業共済組合負担金事業			
事業概要							
大阪府農業共済組合負担金							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
・大阪府農業共済組合負担金 R5：450,005円 R6：449,158円 R7：448,828円 農林水産省まとめの2020年農林業センサス報告書にある府内各自治体の総農家数及び耕地面積（田）と事務経費等を勘案し、負担金額を算出。			決算額 （千円）	450	449	449	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			年々、農地及び加入農家は減少しているが、農業経営を支援し農地を保全するために、今後も継続すべき事業である。				継続

2	所管 室課	地域経済振興室	事業名	農業振興事業			
事業概要							
花とみどりふれあい農園、市民農園関係、農作業体験、地産地消の推進							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 花とみどりふれあい農園（作付農家数、作付面積） R5:28戸53,107㎡ R6:29戸48,381㎡ R7:27戸43,086㎡ (2) 市民農園（農園数、総区画数） R5:19園700区画 R6:18園672区画 R7:18園666区画 (3) 農作業体験 ・ふれ愛農園（参加登録、延参加者数、開催回数） R5:19組(69人)、295人、6回 R6:20組(78人)、325人、7回 R7:20組(75人)、321人、7回 ・学童農園（実施校数、延参加者数） R5:20校、3,863人 R6:20校、3,708人 R7:19校、3,858人 (4) 地産地消推進事業補助金 ・奨励作物栽培事業（吹田くわい） R5:4件 R6:4件 R7:2件 ・奨励作物栽培事業（新たまねぎ） R5:5件 R6:5件 R7:5件 ・地産地消販売活動事業 R5:9件 R6:8件 R7:8件 (5) 農産物販売会 江坂朝市 R5:10回 R6:10回 R7:9回 ハピスマ朝市 R5:2回 R6:2回 R7:2回 その他、吹田産業フェア、健都ライブラリー周年事業に出店 (6) 千里北公園農小屋解体撤去工事（R5のみ）			決算額 （千円）	5,910	3,162	3,445	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			花とみどりふれあい農園は、作付農家 や農地の減少に伴い作付面積は減少して いる。市民農園、ふれ愛農園ともにニ ーズが高く、市民農園については農家へ新 規開園の働きかけを行い、ふれ愛農園に ついては参加者数の拡大に向けた取組み を進めている。農家の高齢化による担い 手不足が進むなかで朝市や品評会を開催 し、農業者の意欲向上を促し、担い手確 保に繋げていく。 吹田くわいは、栽培農家が減少してい るため、保存、増産に向けた取組みを広 げていく必要がある。				継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	711	施策	産業振興と創業支援
管理事業	農地事業	所管部局	下水道部

1	所管 室課	管路保全室	事業名	農業用水路管理事業				
事業概要								
農業用水路維持管理								
活動実績				年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 委託料 令和5年度… 0千円、令和6年度… 0千円、令和7年度… 1,848千円				決算額 (千円)	100	114	1,948	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
(2) 維持管理用原材料費 令和5年度… 0千円、令和6年度… 0千円、令和7年度… 0千円				一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	
(3) 負担金 令和5年度… 100千円、令和6年度… 114千円、令和7年度… 100千円				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
				・農業用水路やため池等は、大雨時に河川や下水道管を補完することにより水防等にも寄与していることから、当事業を継続する必要がある。 ・災害等により農業用施設に被害が発生すると、業務量が膨大となる。 ・市内で対象となる全てのため池で『ため池ハザードマップ』の作成が完了した。今後は、ホームページでの公表等により、被害の軽減が図れるよう努める。				
				継続				

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				□ 有効性 □ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			□ 公平性 □ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名